

新潟小学校



「来てみて・食べて・行ってみる」学校周辺の新潟島の歴史や文化、名所の特徴をスイーツで表しました。「古町スイーツ」は、おいしさと新潟島の魅力再発見のコラボレーションです。



「このアイデアはとて面白いけど、ここをクリームで三層にするのは難しいね。」



「古町ニコニコパフェ」
NEXT21 のてっぺんの三角屋根の特徴をクリームとフルーツで表現。



これが「砂山きらきらモンブラン」です。何度もデザインし直して、やっと形になりました。



3日間の限定販売初日、「出陣式」では特設会場で、まちの魅力とスイーツの特徴をアピール。



「おみこし」をイメージしました。ムースとスポンジがポイントです。



おいしいスイーツを食べて、ぜひ新潟の魅力にふれてください!

「古町スイーツ」で巡る新潟小学校区

新潟市立新潟小学校区

- どっペり坂**
この坂を下って街に遊びに行くとき感じる「どっペり坂」ということから名前が付けられました。
- 真入池**
カトリック教会をつくったスイスのマック・ヒンデルさんが井戸を掘ったら水があられ、池になりました。
- NEXT21**
古町のシンボルタワーでもあるNEXT21。市内でもひととき大きな建物で、三角形の屋根が特徴です。
- 新潟まつり**
住吉祭、商工祭、川開き、陸海記念祭の4つの祭りごととなり、新潟まつりとなりました。
- 古町どんとん**
春と秋の2回、古町で開催されます。楽しい催しがいっぱいあります。古町6には「たんぼぼふれあい広場」も開設しました。
- 砂山**
砂の被害に悩まされた新潟の町。ぐみや松を植えて砂を防ぎました。北原白秋はこの景色を「砂山」に詠みました。
- ドン山**
明治から大正にかけて、時報として大砲を鳴らしました。新発田まで音が聞こえました。
- 古町置換**
江戸時代、日本中から集まったお客様をもてなすため、置換さんが増えました。
- 発酵の町**
北前船や粟の木川などの水産で発酵食品を扱う店が増え、全国に出荷されていました。
- 北前船**
江戸時代から新潟の港には北前船が来て栄えていました。明治には開港5港の一つに選ばれました。
- 萬代橋**
明治時代にかかれた萬代橋。当時、日本一長い橋でした。現在の萬代橋は3代目で、鉄筋で作られています。

- 「古町スイーツ」は、新潟小学校の4年生が、地元商店街を盛り上げようと、平成22年度から始めました。平成28年度のテーマは、「祭り」でした。
- 夏には、「祭り」つながりで岡川村立岡川小学校との交流会を行いました。11月の出陣式には、岡川小学校の4年生の子どもたちが、「大したもん蛇祭り」のミニ大蛇と一緒に応援に駆け付けてくれました。
- 昨年9月には、地元古町の空き店舗を活用した「たんぼぼふれあい広場」を開設しました。



岡川小の子どもたちとミニ大蛇が古町の「たんぼぼふれあい広場」まで練り歩きました。



完成したときは、本当にうれしかったです。

試食会を経て、9つのおいしいスイーツができあがりました。



デザインはとてよくできていました。お客さんのことを考えて、材料費などについてアドバイスしました。



古町6モール内に開設した「たんぼぼふれあい広場」
○活動拠点 ○作品展示
○ふれあい活動など様々な使い方ができます。他の学校、地域の方も条件次第で利用可能です。興味のある方はまず連絡を!

「たんぼぼふれあい広場」活用など、新潟小学校の旬な情報は学校ホームページをご覧ください。



たくさんの人に喜んでもらったのが何よりです。

子どもたちが考えたスイーツを、より多くの人たちに食べてもらいたい、一生懸命作りました。

● 子どもの声 ●

わたしたちは5月からずっと「古町スイーツ」の学習を続けてきました。その間、スイーツ職人の方や先生にアドバイスをいただいたり、何度も何度も企画書を書き直しました。そしてむかえた販売当日。お客さんがたくさん来てくれて、古町が盛り上がりうれしかったです。

グループで話し合い、ぼくの抹茶を使う意見が取り入れられました。試食会で食べたスイーツは、抹茶とあんこが合っていてすごくおいしかったです。その後、出陣式に向けて宣伝方法を一生懸命考えました。販売会では、たくさん売れたのでよかったです。これから古町スイーツの時だけでなく、いつも古町がにぎわってほしいなと思います。

たんぼぼふれあい広場のオープニングセレモニーでは、総おどりを踊りました。当日、ぼくもみんなも緊張していましたが、一生懸命踊りました。見ている人がにっこりとわらいました。古町が笑顔に包まれて、とても気持ちよかったです。これからたんぼぼふれあい広場の基地で勉強するのが楽しみです。